

美山だより 2010・はる

皆様へ

アースガーデンです。あっという間に冬が過ぎ、春が来て、もう初夏になろうとしています。さて、今日はおひさま発電所にご協力いただいた皆様に、「美山便り」の第1号をお届けします。

昨年9月におひさま発電所の点灯式を行なった後、初めての冬を迎えました。例年なら美山は12月下旬より雪模様のお天気になり、厳寒期には連日雪が降り続き、春先まで50~60cmの雪に常におおわれていることが多いのです。ですから、おひさま発電所も美山では「冬眠」するのだと思っていました。ところが、今回の冬は予想外。雪が少なく、12月~2月の3ヶ月で合計845kWhも発電しました。気候変動の懸念がつきまとい複雑な心境ですが、雪かきする必要がなくて楽でしたし、暖冬で過ごしやすかったです。

春の気配が感じられる頃になると、私たちの目はガーデンの草花にいきます。アースガーデンの敷地内のお庭は5つの区画に分かれています。冬から春にかけて楽しめるのがカフェの南側のオーガニックな小さなお花ガーデンの区画。ここは落葉樹が何本も植えられ、夏は涼しい木陰を作り、秋には葉を全て落として冬~春に日ざしを入れてくれます。また秋の落ち葉で土作りができます。

手間のかからないここでの土作りをご紹介します。毎年冬が来る前に降り積もった落ち葉の上にペットのウサギのトイレでつくったうさぎ堆肥「ぴよんポスト」を施します（トイレ砂はオカラペレットと鋸屑ペレットを半分ずつ）。その上にさらに落ち葉が降り積もります。そして冬を経過すると春には養分豊かな表土ができています（完熟堆肥になっていなくてもこの方法なら大丈夫）。この「ぴよんポスト&落ち葉の表層」の下には、春の球根類などの多年草がたくさん冬の間眠っていて、春になると順番に出て来て開花します。人間がそんなに手をかけなくても、美しいお花ガーデンが春にはひとりで出現する仕組みです。



2010年4月23日撮影



2010年3月27日撮影

今年も2月にスノードロップが小さな白い花を咲かせ、3月にはシラーシベリカ、クロッカス、スイセン、ハナニラと次々と開花し、4月半ばには原種4種を含む9種類のチューリップが咲きだすと、5月の連休の終わりまでここは春の陽光の中、豊かな色彩にあふれます。スミレその他の山野草も咲いています。連休が終わるとこの華やかさが少しずつ消えていき、ゴールデンウィークの人出が引いて行くの頃にはこのガーデンも紫、青、白の落ち着いた色彩の花々が変わって行きます。すると初夏がやってきます。

ではまたお便りしますね。

2010年5月13日

アースガーデン
植月千砂